

令和7年度 小林市立永久津小学校 学校関係者評価書

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	笑顔と思いやり、意欲あふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって伝統と絆をつなぐ ～
--------------	---

知育		【重点目標】主体的な学びと確かな学力の向上		
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 基礎的・基本的な学力の定着と活用力の向上	○ 教職員の評価及び下学年児童の肯定的評価は 80%を下回ったが、上学年児童、保護者のアンケートは肯定的評価が 90%以上となった。放課後の職員研修や会議等は基本的に水曜日だけにするこで、教材研究の時間を確保した。朝の時間では水曜日と金曜日にぐんぐんタイムを設定することで、どの学級も確実に習熟の時間を確保することができた。	2.8	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的達成のための手段に基づいて、それぞれ成果や課題が明確となっている。家庭学習について肯定的評価が 80%を下回っているとのこで、報告のとおり、家庭との連携共通理解が重要と思われる。</li> <li>少ないながらも子供達には各々個性があります。全体と個人との教え方に大変苦労されているのではないかと思います。その中で、1の評価で90%以上の評価を受けたこと、3の研究公開で高評価を受けたことは、先生方の努力があってこそだと思います。5に関しては、子供教室でも補足できるように取り組んでいきたいと思ひます。</li> <li>基礎的、基本的な学習の中で子供の習熟について、取り残すことのないような取組として職員の研修、教材の研究の時間を確保されて、取り組まれています。</li> <li>知育において、主体的に学び、思考力や表現力の向上に対して、目標をもって取り組んでいる成果を研究公開で発表する取組で今後の成果につながると考えられます。</li> </ul>
2 個に応じた指導の充実	○ アンケートの肯定的評価が 80%を下回っていた。特に個に応じた指導について、より充実させる必要があることを全職員で共通理解し、実践する。			
3 主体的・協働的に学ぶ児童の育成	○ 全職員で理論研究及び授業研究を進め、主体的に学び、思考力や表現力の向上を目指した授業改善に取り組んできた。個別最適な学びと協働的な学びの往還により、基礎的・基本的な知識・技能や、思考力・判断力・表現力を高めることができ、その成果を研究公開で披露することができた。			
4 ICT 機器の効果的な活用	○ どの学年も週 3 回以上は児童用タブレットを使用して学習を進めた。また、ロイロノートの研修会に参加することで、新しい授業の在り方について模索することができた。			
5 基本的学習習慣の確立	○ 特に家庭学習について、肯定的評価が 80%を大きく下回っていた。家庭学習をどのように取り組むのか、参観日や学級活動の時間を中心に共通理解を図る必要がある。			

德育				
【重点目標】 互いを認め高め合う態度の育成				
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 基本的な生活習慣の定着	○ 校内での挨拶はできている。校外でのあいさつについても指導を工夫していきたい。	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつは継続的に指導をお願いしたい。いじめ、交友関係等注意深く観察することが必要と思われる。授業以外の取組も評価できる。</li> <li>・ 自ら「あいさつをしよう！」と積極的な姿勢が見えません。</li> <li>・ 冬期は登校時、薄暗いので途中まで、懐中電灯を持って行きます。車から自らの身を守る事を学んで欲しいと思っています。</li> <li>・ 校外でのあいさつがいまいち</li> <li>・ 地域でのあいさつができる子供を育てるための取組を行って、素直な子供が育っていくと考えます。</li> <li>・ 通学路に対しても危険箇所があると思いますので、安全に学校へ行けることを目標に努めていきたいですね。</li> <li>・ 1～3に関しては、小学校ならではの小さい学校ならではの固定された人間関係がある為、難しい所があるかと思います。いじめにつながる前によく対応して下さっていると思います。ここにも個人差、個性があり、集団になると目が届かないこともあるかと思います。また、大人の見えない所で、意地悪する子供がいるので、尚更、大変だと思います。これからもよろしくお願い致します。4～6に関しては、素晴らしい取組をされ、また、ごほうびカードを見せてくれました。子供の頃にいろいろな体験ができるという事は将来につながりますので、これからも継続していただきたいと思っています。</li> </ul>
2 いじめ・不登校の未然防止と早期対応	○ 毎月のアンケートや関係機関との情報共有で支援することができてきている。また、教育相談を定期的に行い、児童理解を深めた。			
3 道徳科の時間の充実	○ 交友関係について不安を感じている児童が少しいるので、担任が十分配慮するとともに、道徳科の指導も一層充実させる必要がある。			
4 読書と新聞活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書支援員との連携により職員や児童が利用しやすい環境づくりに取り組むことができた。図書支援員や委員会によるイベントなどを計画・実施したことで、図書室利用と貸出冊数も伸び、年間貸出冊数週平均は一人3冊となった。</li> <li>○ 新聞掲載は18件(1月末まで)であったので、投稿を多く呼びかけたい。</li> </ul>			
5 豊かな体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝の読み聞かせや学校保健委員会など、授業以外の様々な場面でも外部講師を積極的に活用することができた。</li> <li>○ 天候により実施できなかった体験活動もあったが、事前に計画していた体験活動はおおむね実施できた。</li> </ul>			
6 安心安全な教育環境の整備	○ 月1回の安全点検で危険箇所を確認し、補修等、適切な対応をとることができた。			

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span style="font-size: 24pt; font-weight: bold;">体育</span> <span>【重点目標】 体力向上とがんばりぬく力の育成</span> </div>				
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 スクールスポーツプランを意識した基礎体力の向上	○ 落ち込みのある種目において、中学校体育教員を講師に招くなど、向上を図る方法を考えていく。	2	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1、2に関して、改善策をとおして、体力向上につながると良いですね。自力登校＝体力向上になると私も思います。私の反省点でもありますので、ぜひ100%に達してほしいです。3は昔から課題になっています。仕事の都合やスポ少などが原因だと思います。皆で行けるといいですね。</li> <li>・ 基礎体力の向上で、中学校職員を巻き込んで、今後も向上につなげていってほしいです。</li> <li>・ 子供教室等で見ていると積極的に外で遊んでいます。</li> <li>・ 外遊びが体力向上の基礎となると思うので、積極的に指導をお願いしたい。虫歯治療率の向上のため対象家庭に継続して啓発をお願いしたい。</li> </ul>
2 外遊びの奨励	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外遊びをしていると回答した児童が目標とする90%に満たなかった。児童委員会等で企画して外遊びの楽しさを啓発していきたい。</li> <li>○ 自力登校の児童が84%でおおむね達成できているが、家庭に啓発しながら90%を目指したい。</li> </ul>			
3 むし歯治療の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むし歯治療率1月上旬現在29%。引き続き根気強く受診について対象家庭に呼びかけていく。</li> <li>○ フッ化物洗口は、予定通り実施できている。</li> </ul>			

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span style="font-size: 24pt; font-weight: bold;">食育</span> <span>【重点目標】 食に関する感謝と望ましい習慣の育成</span> </div>				
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 家庭、地域と連携した食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「給食を好き嫌いせずに食べる」の肯定的評価84%、残食調査各学年毎月平均70～470gと、好き嫌いせずに給食を食べることができている。</li> <li>○ 食事のマナーに対する保護者の肯定的評価が目標の80%に満たなかったので、学校保健委員会、給食だより、ほけんだより、ホームページ等を活用して更なる家庭との連携を図りたい。</li> <li>○ 教育課程に沿って各食育に関する行事を計画的に実践できている。</li> <li>○ 今年度より弁当の日を夏休みの1回に絞って実施したが、食への関心を高める貴重な機会となった。</li> </ul>	3.5	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食育は、近年大切な教育となっており、家庭はもちろん学校での取組を期待している。食事のマナーについては、家庭での指導をお願いしたい。</li> <li>・ 食育ということで、成長する上で大切なことと考えられます。現代の野菜が少し苦手という子供が増えているように感じていますので、難しいですが、今後それを克服するというのが課題かと考えます。</li> </ul>

2 食物アレルギーをはじめとする食の安全の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アレルギーに関する職員の自己評価100%で達成できた。</li> <li>○ 年度始めに学校薬剤師を講師に招き食物アレルギー研修を実施できた。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 残食が少ないのは良い事と思いますが、残さず食べる、食べられる分だけの配食も心がけて欲しいですね。</li> <li>・ 好き嫌いに関しても永遠の課題ですね。給食なら食べられる子もいるのではないのでしょうか。栄養士さんの工夫も大変ですが、大人になると食べられる物も変化してくるので、84%は素晴らしいと思います。アレルギー対応100%も素晴らしいと思います。</li> </ul>
-------------------------	---	--	--	--

<b>その他</b> 【重点目標】活気ある地域学校協働活動、目標を共有した一貫教育の推進、開かれた教育活動と情報の発信、子どものための働き方改革、メディアコントロールの推進				
目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
1 学校運営協議会の機能を生かした活動充実	○ 学校外の方々から意見を伺う貴重な場となったが、全員揃うことが難しかった。	3.6	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究公開では素晴らしい実績を残されました。他の方からも称賛の声を聞きました。</li> <li>・ 運営協議会の開催が昼間となり、参加する事が難しくなりました。</li> </ul>
2 地域組織を生かした教育の活性化	○ 天候に恵まれなかった活動もあったが、地域の方々の協力を得られた。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校日より、ホームページ等には最新の取組が発信され、読むのが楽しみです。</li> </ul>
3 小中合同研究による授業改善	○ 研究公開に向けて、小中合同で研究を進め、授業改善につながった。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究公開の評価が高かったとの報告を受けた。学校運営協議会の開催時間帯については、現役世代の委員もいるので、曜日、時間帯の配慮、1ヶ月前以上の早目の日程決定をお願いしたい。</li> </ul>
4 幼保小中の連携充実	○ 計画的に実施できた。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1・2に関して、参加できてよかったです。会議でも意見を出しましたが保護者や子供達は地域コーディネーターや民生委員、主任児童委員の役割や誰がしているのか分かっていないと思います。1度、全体で顔を合わせて、ごあいさつできたらと考えます。区長さん、振興会会長さん、いき</li> </ul>

5 学校ホームページや広報活動の充実	○ 学校だよりやホームページをとおして、学校行事や各学年の取組等を積極的に発信することができた。			いき協議会さんなど。
6 時間とゆとりを生み出す教育課程の工夫	○ 会議日設定の工夫により、放課後にゆとりができた。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～6は素晴らしい。</li> <li>・ 7はこちらも最近の課題であり、自宅でもなかなか決まり事をしてても成立しないのではないかと思います。例を挙げて、「うちではこうして決まりを作ったら○○になったよ」など、実体験談など聞けると良いのかな?と考えます。</li> </ul>
7 メディアコントロールの推進	○ 家庭教育学級での県 IT アドバイザーによる講話や参観日での弁護士授業による出前授業等をとおして啓発を図ったが、スマホ等の取扱いについては改善の必要性を感じる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田植え等の取り入れは、食育において子供達がどのようにして自分達が食するまでになるかのいい勉強だと思います。</li> <li>・ 現実、メディアコントロールでの啓発は必要なことだと考えられます。このことは、保護者も巻き込んでの改善が必要だと考えます。</li> </ul>